

社会教育関係職員の養成・研修及び評価に関する研究

三輪 建二 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)

平成 22 年度は 2 つの調査研究を実施した。

① 社会教育関係職員の養成・研修に関する研究

本研究の目的は、以下の 2 点にまとめることができる。a. 学部での社会教育主事養成課程カリキュラムを社会教育の現状に合わせて改善する。社会教育的な活動に対応する「学習コーディネーター」の資格を新設し、その上で、単位を追加して「社会教育主事」の資格を得られるようにすることを目指す研究を行う。b. 新しい学習コーディネーター資格を含めて学部における社会教育主事養成カリキュラムの改善について、まちづくりと社会的・経済的・文化的格差の是正を視点を織り込んだものを作成し、文部科学省をはじめ各関係者に対して政策提言を行う。

上記の目的を達成するために、平成 22 年度は、一部、全国社会教育職員養成研究連絡協議会、および科学研究費基盤研究 (B)「社会教育主事・学習コーディネーターの養成に関する研究」と連動させながら、全国の社会教育主事課程をもつ大学へのアンケート調査を実施し、実態調査を行うと同時に、実践力養成の社会教育主事課程のカリキュラム開発を進めていった。

本年度の研究成果として、平成 23 年 3 月に文部科学省の「社会教育主事講習」の申請を行い、平成 23 年度から、「お茶の水女子大学社会教育主事講習」(文部科学省からの予算、300 万円) を実施する方向が定まった。

② 社会教育における「評価」システムの研究

社会教育領域における学習成果、事業の「評価」をめぐり、社会的・経済的・文化的格差の是正という観点からの評価項目作成の研究を行った。

本年度の研究成果として、①の社会教育主事講習のプログラム作成を、学習成果の評価、資格の認定と合わせて実施することとなった。

③ 国内外における研究成果の口頭発表・講演

三輪建二 (2010)「女性の生涯にわたるキャリア開発を支える教育システムに向けて」A P

E C分科会 2「人材育成・教育 女性の生涯にわたるキャリア開発を支える教育システム」

9月20日、京王プラザホテル

三輪建二（2010）「省察的実践と学びあう組織の創造」韓国仁川市南区役所 11月22日

三輪建二（2011）「社会教育における評価」日本社会教育学会・韓国平生教育学会第2回学術交流研究大会、2月19日、首都大学東京

④ 論文・報告書

三輪建二（2010）「実践力養成に向けた社会教育主事課程の提案をめざして」社養協通信第53号、6月 pp.1-2。

三輪建二編著（2010）『社会教育関係職員の養成と研修に関する研究』社養協。

三輪建二・秦野玲子編（2011）『平成22年度社会教育実習の記録』お茶の水女子大学。